



七百三
百



豊国画

特別
196

294



かろ
かろ
歌
かろ
かろ

晋米齋作
直画
前編

山口屋板



外題
豊國画

古今雛一對

賀鳥爲緒言

人の妻羅色た
かひあ夫婦郷と
隔て死す厚契
念深きかゆさふ
二人の墓を西に
華く其塚小梓
の木生して根ハ
土中小交は枝葉
上小連り一番の
賀鳥爲飛来り此
枝は接悲鳴す



秋の田は雁南を来り、桑山よむ...
人の子を...
文政五年 壬午孟春

藍亭主人晋米齋玉粒述





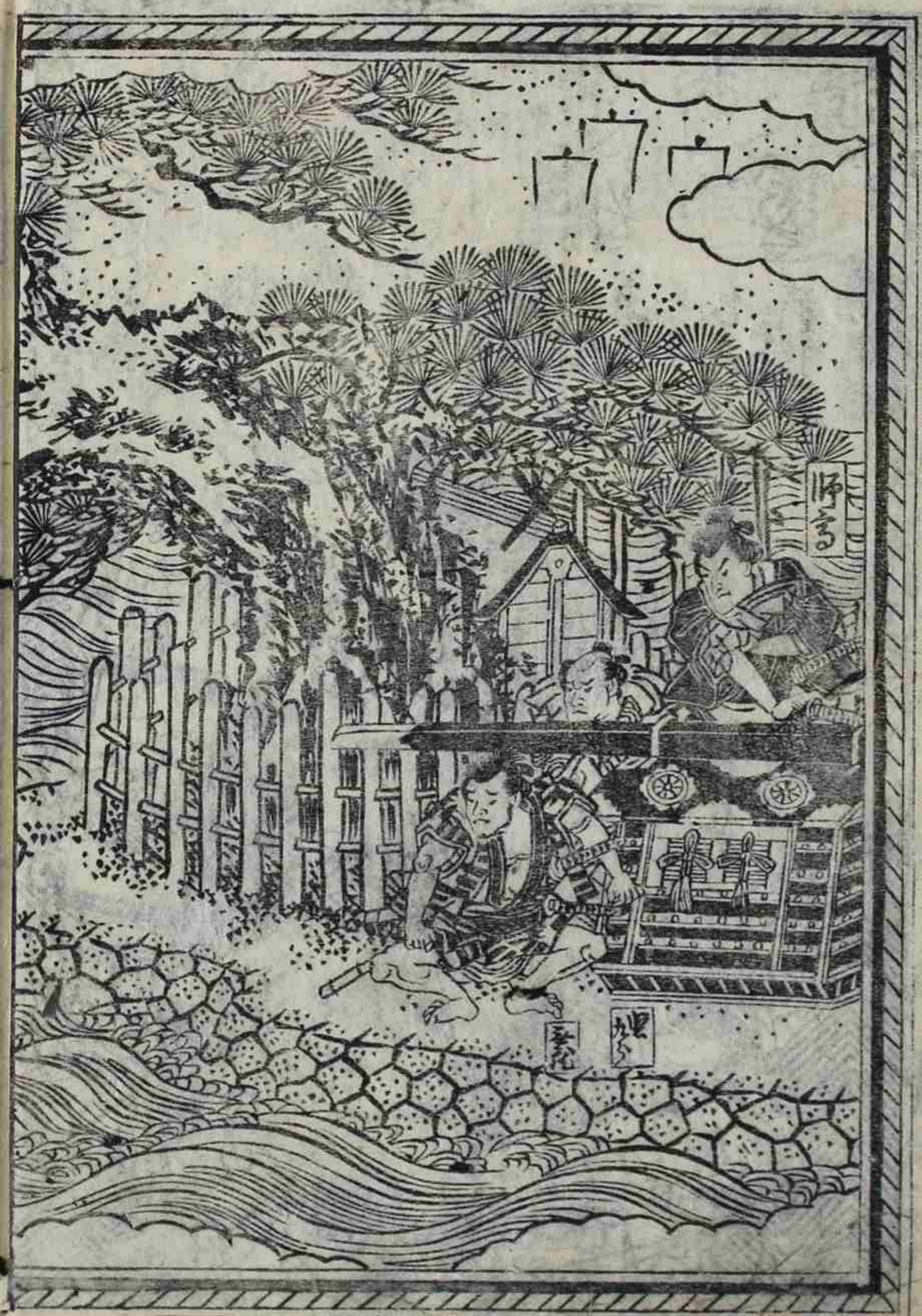
君徳
惟臣
不徳
惟臣

清盛公之御嫡男
小松内大臣
重盛卿

子目する

聖なる御松代

あせの...
何れもかへ



...

...



かろ
多
先
自
の
夢
持
や

横
笛



浪
之
助
瀧
口

中
宮
建
禮
門
院
重
盛
御
妹
の

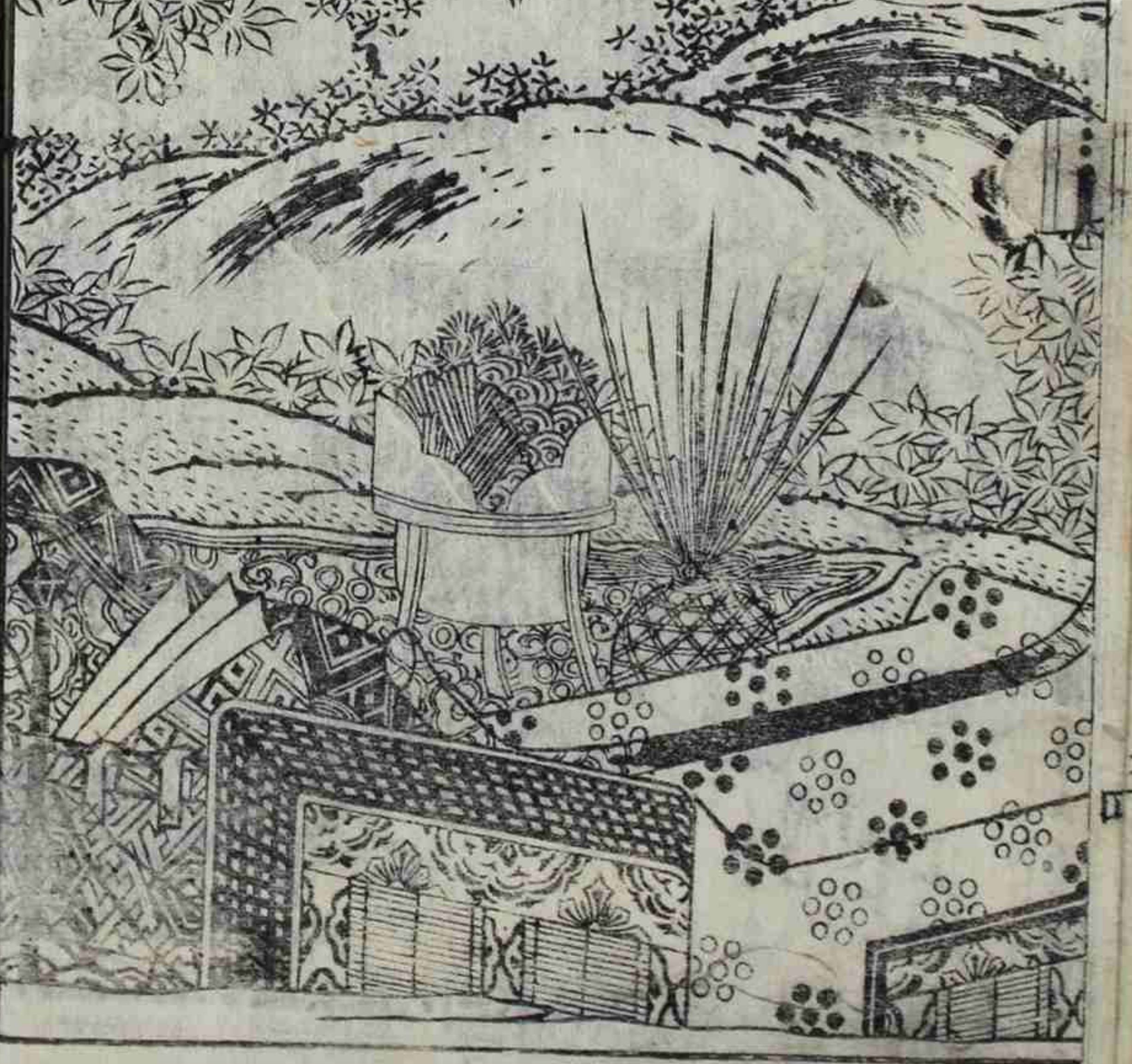


食
其
食
者
不
毀
其
器
不
折
其
枝
者

加
賀
郡
司
高
師

トモツクリ
 これより
 人のちやん
 ちやん
 せす
 日か
 とや
 うま
 むひ
 ら
 生の
 ろら
 甘
 ず
 ゃ
 八百
 人王
 ちや
 の
 大
 長
 おん
 小松

あつ
 ぶん
 ら
 り
 今
 む
 つ
 山
 け
 ち
 と
 め
 ち
 ま
 こ



と
 け
 乃
 の
 う
 の
 小
 の
 け
 の
 九
 今
 び
 中
 四



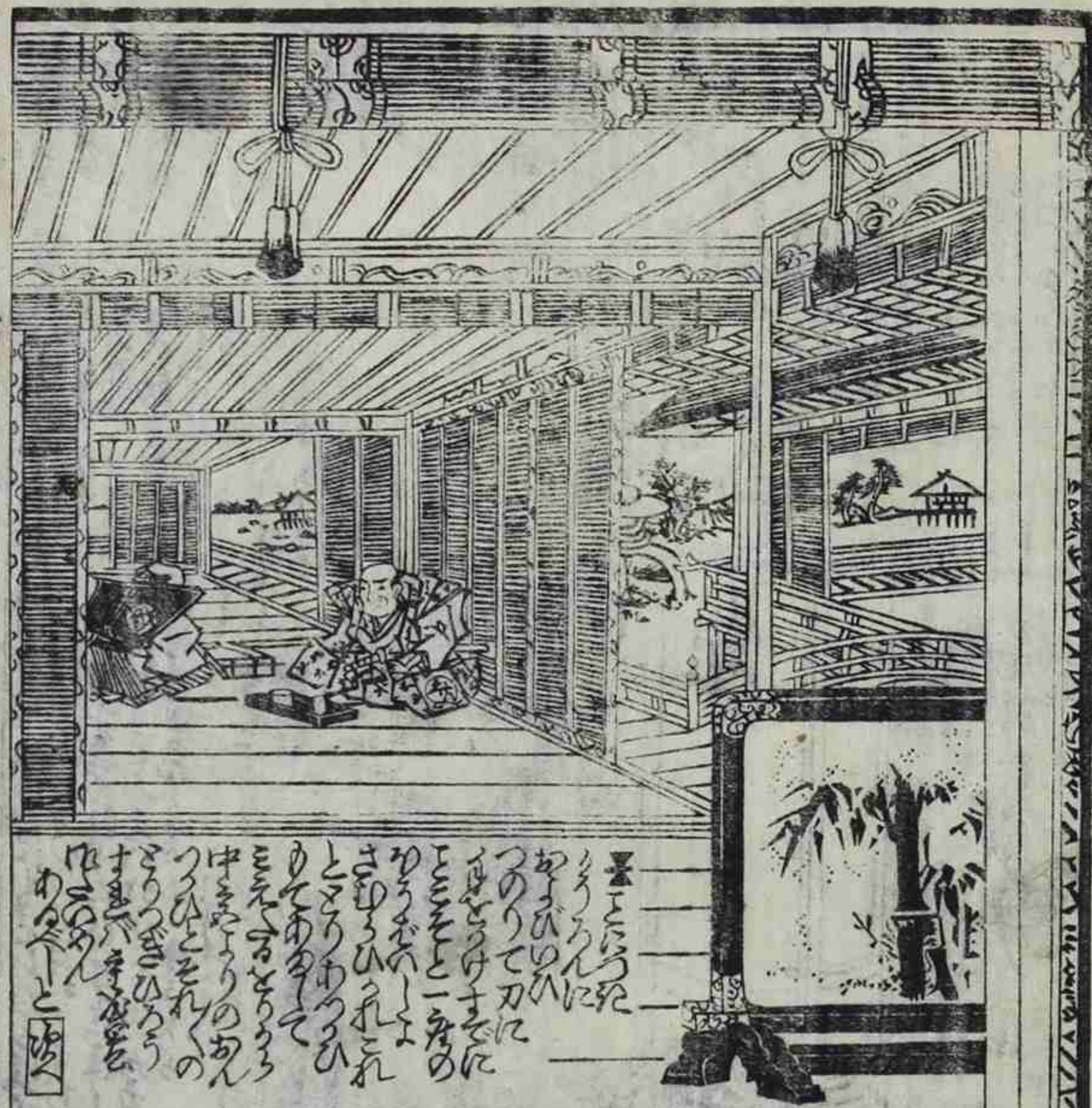
十
 十
 の
 せ
 上
 ち
 ち
 む
 と
 三
 六



第三齣







いふに
あひひの
つりてかに
いふはけまに
てそと一帯の
ゆさのひよ
さしゆひれこれ
とさりわつひ
ゆてあふて
まよるまよる
つひとそれの
まよるまよる
まよるまよる
まよるまよる
まよるまよる
まよるまよる
まよるまよる

十五
あひひの
つりてかに
いふはけまに
てそと一帯の
ゆさのひよ
さしゆひれこれ
とさりわつひ
ゆてあふて
まよるまよる
つひとそれの
まよるまよる
まよるまよる
まよるまよる
まよるまよる
まよるまよる
まよるまよる



いふに
あひひの
つりてかに
いふはけまに
てそと一帯の
ゆさのひよ
さしゆひれこれ
とさりわつひ
ゆてあふて
まよるまよる
つひとそれの
まよるまよる
まよるまよる
まよるまよる
まよるまよる
まよるまよる
まよるまよる

あひひの
つりてかに
いふはけまに
てそと一帯の
ゆさのひよ
さしゆひれこれ
とさりわつひ
ゆてあふて
まよるまよる
つひとそれの
まよるまよる
まよるまよる
まよるまよる
まよるまよる
まよるまよる
まよるまよる

山口屋の巻美丸画晋米齋玉粒作
 上梓の巻美丸画晋米齋玉粒作
 山口屋の巻美丸画晋米齋玉粒作



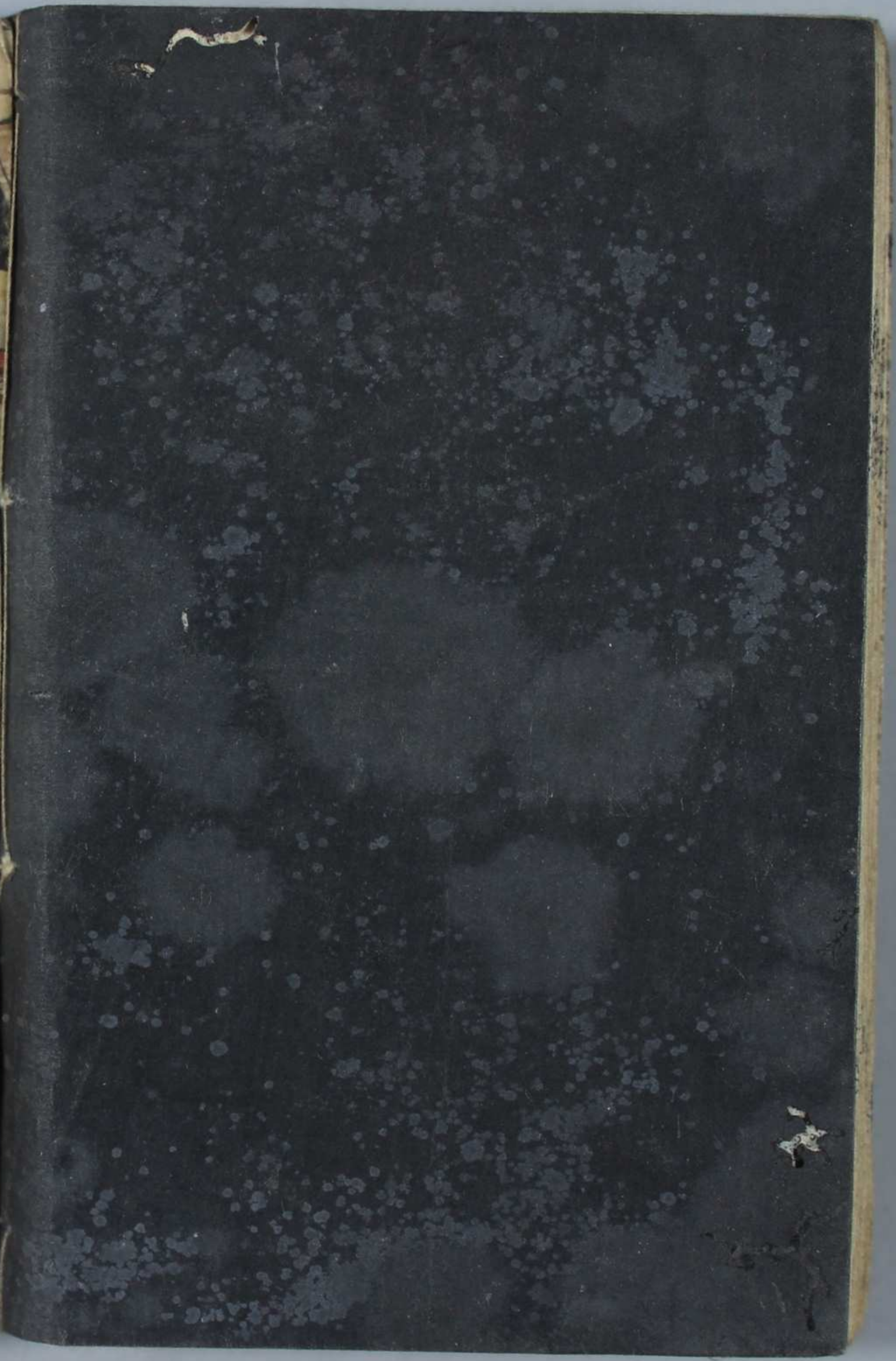
山口屋の巻美丸画晋米齋玉粒作
 上梓の巻美丸画晋米齋玉粒作
 山口屋の巻美丸画晋米齋玉粒作

三つあるたのし
 晋米齋玉粒作
 歌川國直画
 北尾美丸画
 全部五册



古今
 雛
 二對
 鴛鴦
 米齋書

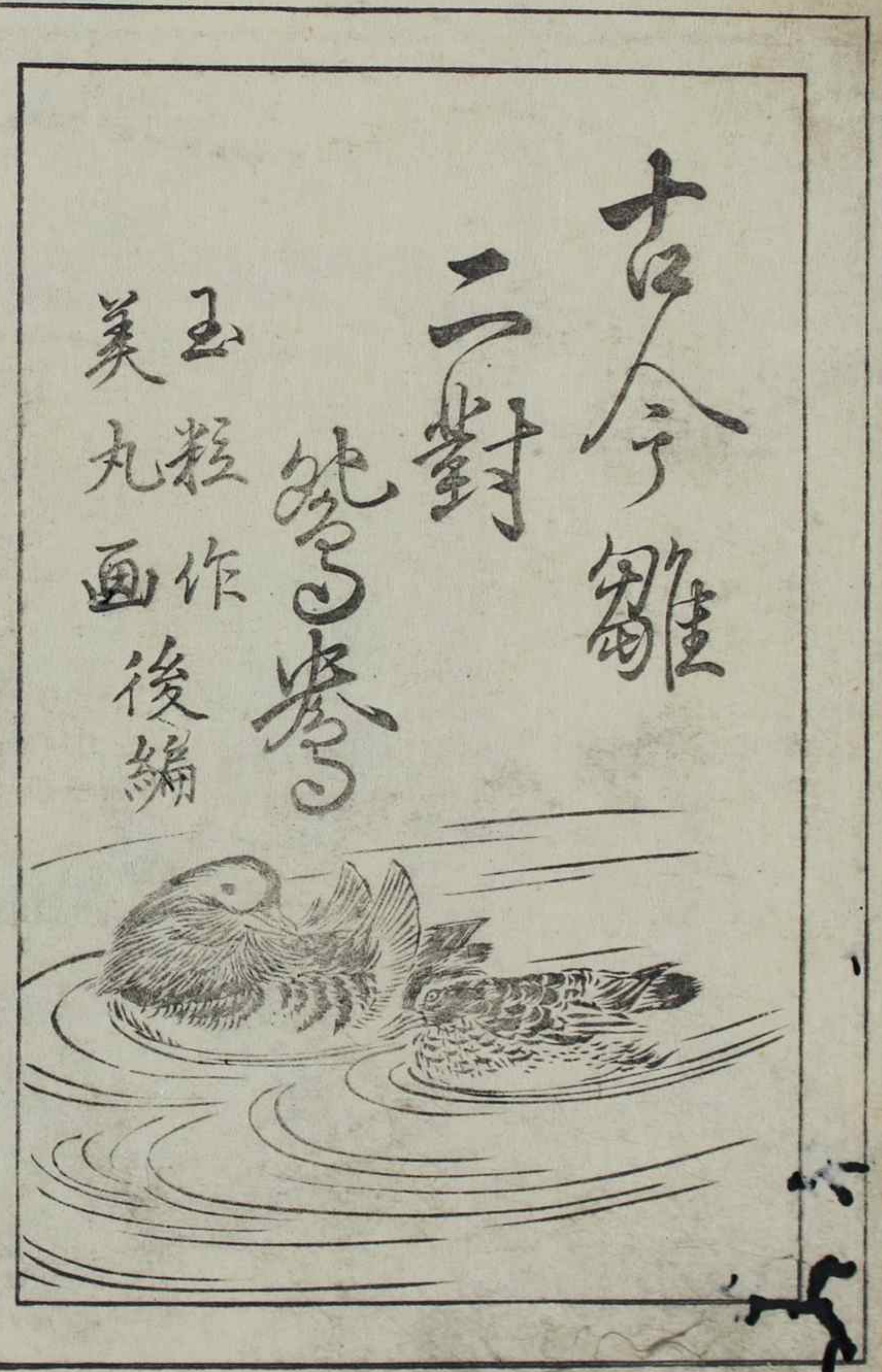
壬午春新板



第四齣



此の如くは...
 玉粒作
 美丸面
 後編
 純るの巻
 吉今雛
 二對



吉今雛
 二對
 純るの巻
 玉粒作
 美丸面
 後編

Handwritten text in vertical columns, likely a transcription of the scene or a commentary. The text is written in a cursive style, filling the upper and left portions of the page.



Handwritten text in vertical columns, continuing the transcription or commentary. The text is located in the upper and right portions of the page.





△△△△△
のまゝの
あつた
のち
のち

△△△△△
のまゝの
あつた
のち
のち

△△△△△
のまゝの
あつた
のち
のち

△△△△△
のまゝの
あつた
のち
のち



△△△△△
のまゝの
あつた
のち
のち

△△△△△
のまゝの
あつた
のち
のち

△△△△△
のまゝの
あつた
のち
のち



△△△△△
のまゝの
あつた
のち
のち

第五卷

四巻の目



Vertical text columns on the left side of the illustration, likely providing commentary or a narrative related to the scene.

Vertical text columns at the bottom of the illustration, continuing the commentary or narrative.



Vertical text columns at the top of the illustration, likely providing commentary or a narrative related to the scene.

Vertical text columns at the bottom of the illustration, continuing the commentary or narrative.

あひまのふくまのなまのうき



あひまのふくまのなまのうき
あひまのふくまのなまのうき
あひまのふくまのなまのうき

あひまのふくまのなまのうき
あひまのふくまのなまのうき
あひまのふくまのなまのうき

あひまのふくまのなまのうき
あひまのふくまのなまのうき
あひまのふくまのなまのうき



あひまのふくまのなまのうき
あひまのふくまのなまのうき
あひまのふくまのなまのうき

あひまのふくまのなまのうき
あひまのふくまのなまのうき
あひまのふくまのなまのうき

あひまのふくまのなまのうき
あひまのふくまのなまのうき
あひまのふくまのなまのうき

あひまのふくまのなまのうき
あひまのふくまのなまのうき
あひまのふくまのなまのうき



人善仁人悪



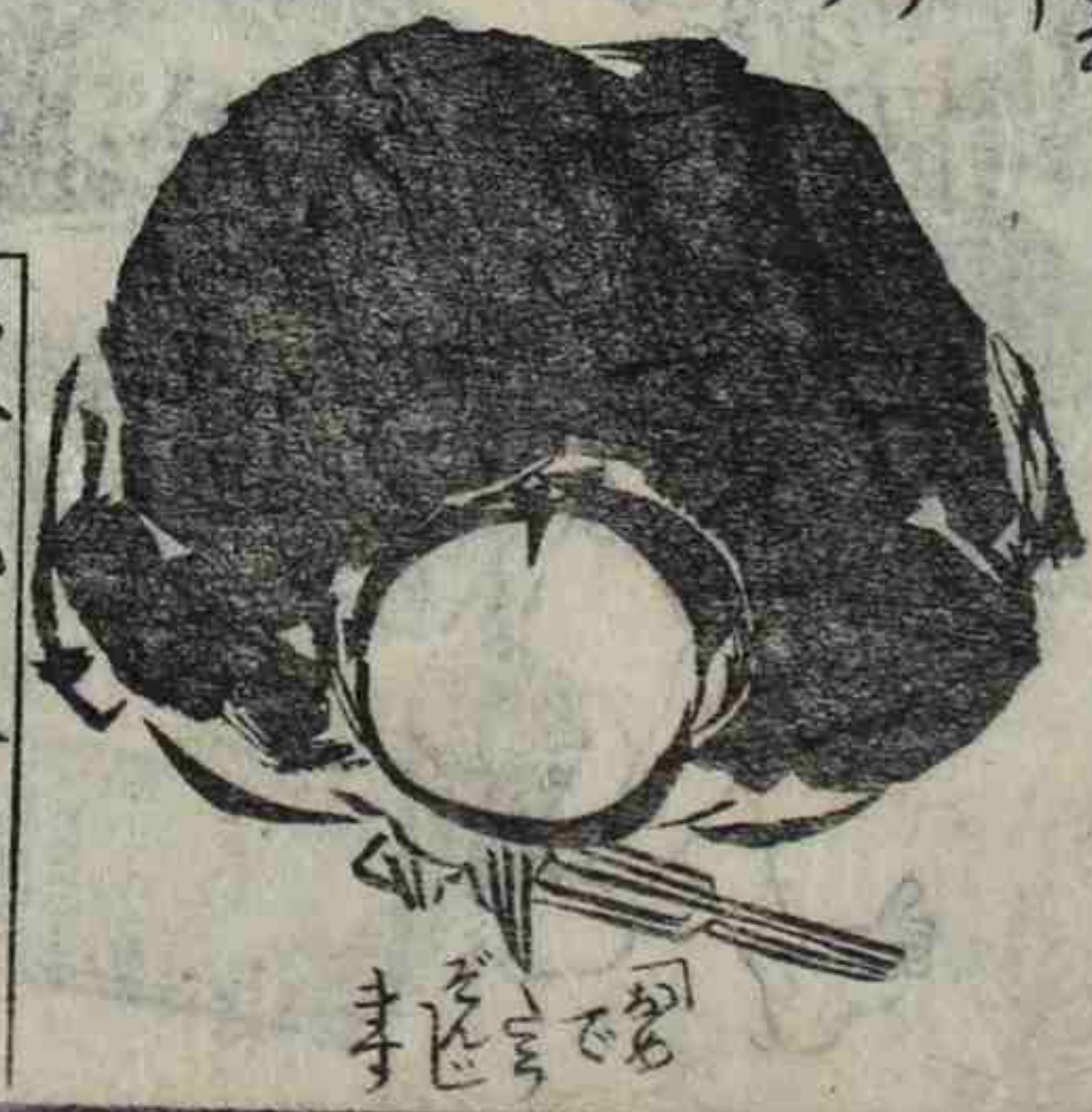
榮圖

あまののり
ごまのり

藍亭主人 晋米齋玉粒作 **米齋**

筆者 藍場青牛

此の書は... 藍亭主人の... 晋米齋玉粒作... 藍場青牛の... 筆... 墨... 紙... 硯... 筆... 墨... 紙... 硯... 筆... 墨... 紙... 硯...



彫工 小泉彌吉

北尾重政 二代目 北尾花蘭齋美丸画 **画**

山口錦耕堂上梓

源家 再興 風光白旗榮 六冊

昔語成田之開帳 六冊

東摸様連理乃巢籠 六冊

江戶廻花二入助六 六冊

古今雛二對鴛鴦 五冊

看々踊公此唐金 五冊

忠臣浮世市藏 六冊

瑠璃紫江戸朝顔 六冊

此外東... 此の書は...

地本錦繪問屋 江戸馬喰町二丁目 錦耕堂 山口屋藤兵衛版



文
書
度

